

JHF 臨時理事会議事録

日 時： 2021年5月24日(月) 12:30～13:45

場 所： JHF事務局会議室(北区中里1-1-1-301)

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 大沢 豊 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 オンライン(ZOOM) 芦川雄一郎 内田孝也 市川 孝
大沢 豊 小林秀彰 殿塚裕紀

【監事】 オンライン(ZOOM) 岩村浩秀 大森健一

欠席【理事】 安田英二郎

(出席理事6名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 審議事項 ハンググライディング世界選手権日本チーム派遣について

議長(大沢理事)：7月19日から開催の2021HG世界選手権への代表選手派遣ですが、6名の代表選手を選任し一般財団法人日本航空協会にも承認されていた。北マケドニアは外務省から感染症危険情報レベル3(渡航中止勧告)であり派遣をどうするか。5月24日がエントリーフィーの振込期限であることで、臨時理事会開催をお願いした。ハンググライディング競技委員長から嘆願書も出ている。エントリーフィーを今回参加希望の3名+チームリーダーの支払をして欲しいとのことで承認をお願いしたい。

殿塚理事：エントリーフィーの金額はいくらか？

事務局：パイロット(3人)とチームリーダー(1人)で合計1,720ユーロ。本日時点のレートで約23万円です。

内田会長：委員会からの嘆願書には、オセアニアや中南米の国々から反対意見も出ているとのことだが、どこからどのような意見が出ているのか？

議長(大沢理事)：コロナ状況で出国できない国があるらしい。詳しいことは聞いていない。

小林副会長：現時点では、エントリーフィーの支払を認めるか認めないか。選手の気持ちは分かるが事情によっては23万円を捨てることになる。結論を出すには情報量が少ない。

内田会長：他のスポーツ団体の動向が書かれているが、他の団体はオリンピック競技団体ではないのか。我々マイナースポーツと扱いが違って知るすべはない。

芦川理事：選手にはコロナまん延防止対策と安全を尽くして出来れば行って欲しい。

内田会長：お金を払って派遣決定を先延ばしでは臨時理事会としてよくない。選手6名の内、参加したい3名にお金を出したら諦めた3名は立つ瀬がない。参加辞退の確認はチーム全員顔合わせだったのか、強制的に取っていないか。

議長(大沢理事)：競技委員長から確認をして、3人は自主的に辞退している。

内田会長：お金を払うことだけでなく、JHFとして日本の選手をマケドニアに7月に派遣出来

るのか出来ないのかを話し合うべきである。海外送金の時間のために臨時理事会になったが、参加希望する選手への特別扱いだけでなく、辞退した3人の立場を考えるべき。オリンピック選手にはワクチン接種があるが、それ以外の競技では物理的、政治的に考えても不可能と思う。

市川理事：コロナ状況が変わり判断材料が足りない現時点では決められない。エントリーフィーは締切があるので支払っておくのが折衷案になる。

大森監事：外務省でレベル3の場合は渡航中止勧告である。公益法人として派遣することはどうか。エントリーフィーを払い判断を先送りでのよいのか、もう少し考えて欲しい。

殿塚理事：事情があって辞退する選手は致し方ないが、参加希望する選手については、大会前の、渡航レベルやワクチンの接種状況等では参加中止も止むを得ないことも出ると思うが、今日時点ではエントリーフィーを支払ってサポートしたい。

内田会長：自分自身の経験上でも明らかだが、もし6月末時点で派遣が中止になった場合は、本人達には準備もあり相当な出費があるがJHFは負担しない。本人達は損害も考えているのか。

議長（大沢理事）：先延ばしの回答も含め理事会が決めたことには異議を申し立てることはない。と嘆願書に書かれている。

内田会長：各自が金銭的覚悟もしているということであれば、辞退した3人の選手にも権利を与えるべき。追加募集はしないと委員会が告知したようだが、6人より下位の選手で行きたい人がいたかも知れない。参加希望3人だけに特別扱いをすることは公益法人としてよいのか。役員責任で今回は諦めるように決めた方が本人達は開放される。不公平だと言っている国もあることも考えるべき。

議長（大沢理事）：3月時点で補欠募集は時間的にも無理があるのでしないことは委員会で判断していた。

市川理事：あくまでも自主的に行かないと言っていること、追加はしないと決めているのであればそれでよい。

内田会長：委員会からの嘆願書で派遣判断は5月28日となっているが、理事会の意見は7月初旬の判断に先延ばしをするのか。外務省サイトは委員会資料で5月更新の前は昨年10月となっている、後1カ月でも同じ状況で変わるはずはない。今判断か先の判断かで公益法人としての判断は変わるのか？

殿塚理事：1カ月後、2カ月後の状況は分からない。迷いはあるが意思表示としては参加で、物理的に無理だという状況でない限りは賛成する。

岩村監事：これまでに理事会で1度承認したからではない。安全に行って帰って来られる判断があればよいが、何かあった時の担保や責任を各理事が理解しているのか。心情的以外なことで判断して欲しい。

内田会長：賛否を取るなら選択肢の中に派遣を止めさせる意見を提案する。

岩村監事：重要な判断になるので、責任明示の為誰が賛成か反対かは記録に残してください。

議長（大沢理事）：小林副会長提案の本日支払期限のエントリーフィーを参加希望者の分は支払い、理事会で再度期日を決めてJHFから選手団派遣を決めることに賛成の方は挙手お願いします。

採決の結果、【賛成4 反対0 棄権1】

賛成： 芦川、市川、小林、殿塚

棄権： 内田

議長（大沢理事）：内田会長からの提案で、今回は世界選手権へは派遣しないことに賛成の方は挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成1 反対0 棄権0】

賛成： 内田

2021年ハンググライディング世界選手権への選手派遣について、参加希望者のエントリーフィーを払う。選手、委員会と相談をして遠征準備の期限前に再度理事会で派遣の検討をすることに決定した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）
理事

芦川雄一郎 印

市川 孝 印

内田孝也 印

大沢 豊 印

小林秀彰 印

殿塚裕紀 印

監事

岩村浩秀 印

大森健一 印

議事録作成人：桜井加代子